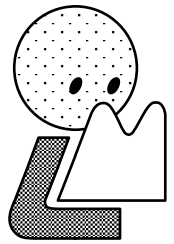


絵本の世界へ③

～大きくなっても(6歳ぐらいから)～

大阪市立図書館 2026



◎図書に関する記載事項は、次の順になっています。

書名／著編者・画家・訳者／出版社／本の大きさ／ページ数／ISBN

いつもちくのおとこのこ —ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー— ジョン・バーニンガム著・絵

たにかわ しゅんたろう訳 あかね書房 26×26cm 32p 978-4-251-00517-5

ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシーは急いで学校にでかけます。けれどワニにつかまったり、高潮にさらわれたりして、遅刻ばかり。理由を話しても、先生はちっとも信じてくれません。

おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん 長谷川義史著・絵 BL出版

27cm 40p 978-4-89238-770-8

5歳のぼくはお父さんやおじいちゃんから始まって、ひいおじいちゃん、ひいひいおじいちゃんと時代をさかのぼって会いに行きます。おじいちゃんたちの服装や町の風景からその時代の様子がよくわかり、時間旅行の気分を味わえます。

おじさんのかさ 佐野洋子著・絵 講談社 31cm 31p 978-4-06-131880-9

おじさんはとても立派なかさを持っていました。あんまり大切にしていたので、雨がふってもさしませんでした。ところがある雨の日、「あめがふったらポンポロン……」という歌をおじさんは聞きました。

おまたせクッキー—友だちとたのしいおやつ!— パット・ハッチンス著・絵 乾 侑美子訳 偕成社

21×26cm 24p 978-4-03-202400-5

ビクトリアとサムが、クッキーを食べようとしていると、友だちがやってきました。みんなで分けようとするとなんども人数が増えて、ひとり分の数が減っていき……。意外な結末が楽しめます。

かもさんおとおり ロバート・マックロスキー著・絵 わたなべ しげお訳 福音館書店

31cm 64p 978-4-8340-0041-2

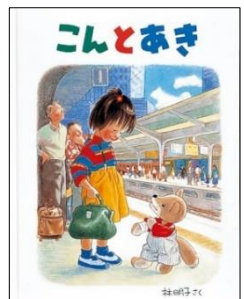
カモの夫婦は、ヒナたちを連れて、引っ越すことにしました。車でいっぱいの大通りを渡ろうとして、大騒動に。親切なお巡りさんたちの助けて、全員無事に公園の池へたどりつくまでを描いています。

こぎつねコンとこだぬきポン 松野正子著 二俣英五郎絵 童心社 25×26cm 47p 978-4-494-01202-2

コンとポンと一緒に遊びたいのに、タヌキと友だちになってはダメ、キツネと遊んではダメと叱られます。けれどもある日、二人はばけっこをしていて、入れ替わって家に帰ります。読み応えのあるお話です。

こんとあき 林 明子著・絵 福音館書店 28cm 40p 978-4-8340-0830-2

ぬいぐるみのこんは、あきが赤ちゃんの時からずっと一緒です。でも、だんだん古くなりほころびてきたので、おばあちゃんに直してもらうため、二人は汽車で旅することになりました。



さむがりやのサンタ レイモンド・ブリッグズ著・絵 すがはら ひろくに訳 福音館書店

26cm 32p 978-4-8340-0436-6

クリスマスイブの朝、サンタは文句を言いながら、寒そうに起きだし、ソリの準備をします。街の人々が眠っている間に、プレゼントを配る様子を、カラフルな絵とマンガのようなコマ割りで描いています。

じごくのそうべえ —桂米朝・上方落語・地獄八景より— 田島征彦著・絵 童心社

26×26cm 40p 978-4-494-01203-9

軽業師のそうべえはえんま大王に地獄行きを言い渡されますが、山伏や医者らと手を組み、釜ゆでや針の山の責め苦を面白おかしくすり抜けます。上方落語を元にした痛快な物語で、地獄のありさまをユーモラスに描いています。

ぞうのババール ―こどものころのおはなし― ジャン・ド・ブリュノフ著・絵 やがわ すみこ訳 評論社

28cm 48p 978-4-566-00000-1

森にすむ子ゾウのババールは、狩人に追われ、街にたどりつきました。何もかもが珍しく、ババールは好奇心いっぱいです。洋服をあつらえ、写真をとるなど、街の暮らしを楽しみますが、やがて森に帰ってゾウの王様になります。

ちいさいうち パージニア・リー・パートン著・絵 いしい ももこ訳 岩波書店

24×25cm 40p 978-4-00-110553-7

ちいさいうちは、静かな田舎の丘の上から、周りの景色をながめて暮らしてきました。ある日車があらわれ、道路や建物が次々とでき、周囲はにぎやかな都会に変わりました。ちいさいうちは、ひとりぼっちで田舎のことを夢に見ます。



ひとまねこざる H. A. レイ著・絵 光吉夏弥訳 岩波書店

21cm 47p 978-4-00-115145-9

しりたがりやのこざるのジョージは、あるとき鍵をぬすんで動物園から逃げ出しました。街はおもしろいことがいっぱい、ついつい知りたがりすぎて手をだして、大騒動を引き起こしてしまいます。

ペレのあたらしいふく エルサ・ベスコフ著・絵 おのぞり ゆりこ訳 福音館書店

24×32cm 16p 978-4-8340-0462-5

ペレは子羊の毛を刈り、その毛をすいてもらうかわりに、にんじん畑の草取りをしました。がんばって働く少年に大人たちも手を貸してやり、彼が念願の新しい服を手に入れるまでが描かれます。

めっきらもっきら どおんどん 長谷川摂子著 ふりや なな絵 福音館書店

20×27cm 31p 978-4-8340-1017-6

神社でめちゃくちゃな歌を歌っていたら、かんたは奇妙な世界に迷い込んでしまいました。子どもがおばけと思う存分楽しく遊ぶ様子を、リズムカルな言葉と躍動感のある絵で描いています。

ものぐさトミー ペン・デュボア著・絵 松岡享子訳 岩波書店 21cm 44p 978-4-00-115129-9

トミー・ナマケンボは、とてもなまけもの。電気じかけの家に住み、お風呂や着替え、食事の世話を機械にしてもらっています。ある日、停電で調子がくるった機械のせいで、彼はたいへんな目にあいます。

りんごかもしれない ヨシタケ シンスケ著・絵 ブロンズ新社

27cm 32p 978-4-89309-562-6

テーブルの上のりんごを見て、男の子が空想をめぐらせます。このりんごは、もしかしたら何かの卵かもしれない、宇宙から来たのかもしれない……。想像力を羽ばたかせる面白さがぎゅっつまっています。



ゆうかななアイリーン ウィリアム・スタイグ著・絵 おがわ えつこ訳 らんか社

27cm 32p 978-4-915632-32-7

風邪をひいたお母さんの代わりに、アイリーンがお屋敷に注文のドレスを届けることになりました。ところが外はひどい吹雪で、風はますます強くなります。そしてとうとうドレスが風にさらわれて……。

ルラルさんのにわ いう ひろし著・絵 ポプラ社 24×25cm 32p 978-4-591-06942-4

芝生の庭が自慢のルラルさんは、誰かが庭に入ろうとすると、得意のぱちんこで追い払います。ある朝、丸太のようなワニを見つけたルラルさんは追い払おうとしますが、ワニは思いがけないことをします。

ろくべえ まってろよ 灰谷健次郎著 長 新太絵 文研出版 29cm 30p 978-4-580-81135-5

穴に落ちてしまった犬のろくべえを、子どもたちは一所懸命助けようとします。ろくべえを元気づけようと、みんなで考えたいろいろなことを試してみますが、なかなかうまくいきません。